

## 平成 30 年度 第 2 回土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 30 年 11 月 23 日(金) 12:00-13:00

場所：コンパルホール 3 階 300 会議室 <http://www.compallhall.jp/>

■ 出席者(敬称略)

委員長：藤原章正(広島大)

副委員長：奥村誠(東北大)，毛利雄一(IBS)，佐々木葉(早稲田大)

幹事長：佐々木邦明(早稲田大学)

学術小委員会：土井健司(大阪大)，塚原健一(九州大学)

大会運営小委員会：吉井稔雄(愛媛大)，浜岡秀勝(秋田大学)，寺部慎太郎(東京理科大)，  
大井尚司(大分大学)，若林拓(名城大学)，大野栄治(名城大学) 金山洋一(富  
山大)，本田豊(富山大)

研究小委員会：多々納裕一(京都大学)，張峻屹(代理：力石真(広島大学))，吉田長裕(大  
阪市大)，秀島栄三(名古屋工大)，小池享司(神戸大)，清水哲夫(首都大)，  
大森宣暁(宇都宮大)，藤井聡(代理：神田佑亮(呉高専))

委員兼幹事：谷口綾子(筑波大学)，石橋知也(長崎大学)，紀伊雅教(徳島大)，松永千晶  
(九州大)，吉田樹(福島大)，稲垣具志(日本大)，神田佑亮(呉高専)，栗原剛  
(東海大)

議事録担当：谷口綾子

■ 議事(案)(敬称略) -----資料 1

1. 開会 委員長挨拶
2. 前回議事録の確認 -----資料 2
3. 委員の交代について -----資料 3
4. 予算の執行計画について -----資料 4
5. 学術小委員会からの報告 -----資料 5
6. 2018 年度 秋大会の実施状況について
7. 2019 年度 春大会の準備状況について -----資料 7-1-1, 資料 7-1-2, 資料 7-2
8. 2019 年度 秋大会の準備状況について -----資料 8
9. 研究小委員会からの報告 -----資料 9-1, 資料 9-2
10. 幹事会からの報告
  - (ア)国際セミナーの実施状況について -----資料 10-ア
  - (イ)研究討論会報告 -----資料 10-イ
  - (ウ)ワンデイセミナー実施状況 -----資料 10-ウ
  - (エ)その他
11. その他

## 議事録

### 1. 開会 委員長挨拶

藤原委員長より就任のあいさつがなされた。

### 2. 前回議事録の確認

佐々木幹事長より資料2の確認がなされ、平成30年度第1回幹事会議事録が承認された。

### 3. 委員の交代について

資料3に基づき、新任委員の紹介と一部修正(アドバイザーの国土交通省道路経済調査室長が田村央氏に変更)がなされた。

### 4. 予算の執行計画について

佐々木幹事長より資料4の説明があり、承認された。

### 5. 学術小委員会からの報告

土井学術小委員会委員長より資料5に基づき、報告がなされた。

### 6. 2018年度 秋大会の実施状況について

大井秋大会実行委員長より、大分大会での現時点での参加登録数は400名程度、当日参加は100名程度が見込まれる旨、報告がなされた。

#### 7-1. 春大会・秋大会の位置づけ入れ替えについて

吉井大会運営小委員会委員長より、春大会・秋大会の位置づけを交換する概要について、資料7-1-1、資料7-1-2に基づき説明があり、多少の混乱はあり得るがスムーズに進むようにご支援いただきたいとの依頼があった。これまでの春・秋という呼称はわかりづらいため、春大会は自由投稿型、秋大会は企画提案型と略称をつけることが承認された。論文投稿時期が変更となることを強調するため、大分大会の全参加者に資料7-1-2のチラシを配布するとともに、WEB掲載も検討する。

#### 7-2. 2019年度 春大会の準備状況について

若林春大会実行委員長より、資料7-2の説明がなされ、開催校と土木学会の役割分担や費用負担(プログラム編成、配布物、休憩室、学生アルバイト、ベビーシッター等)については、開催校と運営小委員会と調整し決めることが周知された。

### 8. 2019年度 秋大会の準備状況について

大会運営小委員会 秋大会運営部会の寺部委員より、2019年度富山における準備状況について、資料8の報告がなされた。路面電車の増発等について調整中とのことであった。

大会実行委員の金山教授および本田教授のご挨拶があった。

## 9. 研究小委員会からの報告

神田幹事より資料 9-1 に基づき、研究小委員会の活動報告がなされた。また、新たに設置申請のあったインフラ・ファイナンス研究小委員会の申請(資料 9-2)について、説明が為され、承認された。

## 10. 幹事会からの報告

### (ア)国際セミナーの実施状況について

石橋幹事より、資料 10-アに基づき、国際セミナーの実施状況について報告がなされた。NO.192 は辞退、NO.193 は確定したとのことであった。

### (イ)研究討論会報告

佐々木幹事長より、資料 10-イに基づき、8 月末に開催された全国大会にて「土木と観光」とのテーマで研究討論会が開催された旨、報告がなされた。

### (ウ)ワンデイセミナー実施状況

石橋幹事より、資料 10-ウに基づき、ワンデイセミナー実施状況についての報告がなされた。

### (エ)その他：なし

## 11. その他

佐々木幹事長より以下の 4 点の報告・依頼がなされた。

- (1)東京オリ・パラの三学会共同 TDM 検討について、土木計画学からは東京大学の羽藤教授・東京工業大学の福田准教授が対応することとなった。また、計画学の対応は毛利副委員長に一任とした。
- (2)2019 年 4 月に開催される CECAR8 に、土木計画学としてセッションを立ち上げている。海外からの参加もあり、ぜひ参加して欲しい。
- (3)災害対応調査団の報告会をこのあと 13:30-15:00 に開催予定であり、参加して欲しい。これまで調査団は個別に組織されていたが、災害が起きたら自動的に調査団を設置できるよう、災害対応調査団のルーチン化を検討する会を立ち上げる予定である。
- (4)国際貢献賞の推薦依頼が土木学会より来ているため、候補者を佐々木幹事長に推薦して欲しい。

浜岡大会運営小委員会担当より、秋大会に先立ち開催されたチュートリアルセッションについて、30 名程度が参加し演習がなされるなど本格的な内容となったとの報告があった。次年度以降も継続する。

以上